

④5 青森県庁舎（南棟・東棟・議会棟）耐震・長寿命化改修事業

受賞機関 青森県 東青地域県民局 地域整備部
営繕課

キーワード 耐震・長寿命化、減築、環境負荷低減、ユニバーサルデザイン

全建賞審査委員会の評価ポイント

昭和35年竣工の青森県庁舎の南棟、東棟及び議会棟において、耐震補強及び長寿命化改修を実施した事業。県有施設利活用方針を策定し、保有量縮小、効率的利用及び長寿命化に取り組む中で、減築により合理的な耐震改修を実現した点や、環境負荷低減、ユニバーサルデザイン化を図り、既存庁舎を有効に活用した点が評価された。

1. はじめに

県では、平成19年3月に策定した青森県県有施設利活用方針に基づき、「保有総量縮小」、「効率的利用」及び「長寿命化」の取組を推進している。本事業はこれらの取組を象徴する事業である。

2. 事業の概要

1) 建物概要

- ・構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・規模（改修前）地下1階地上8階建
（改修後）地下1階地上6階建
- ・建築面積 5,524.53㎡
- ・延べ床面積（改修前）28,013.10㎡
（改修後）24,758.45㎡

青森県庁舎の南棟、東棟及び議会棟は耐震性能が不足しているとともに、昭和35年の竣工から50数年を経過し老朽化が進行してきたことから、災害応急対策に必要な耐震性能の確保と、今後40年程度使用することを目的として改修工事を実施した。

耐震性能の確保に当たっては、通常の耐震補強では補強量が多く執務環境の低下が懸念されたため、南棟及び東棟の6階以上を減築し耐震壁の設置等を行うことで、補強量が約70%削減された。



改修前の県庁舎（6階以上を減築）

2) 建築計画

改修後40年程度の使用を目的とすることから新築と同様に、高断熱・高气密に配慮し、躯体の保護を兼ね外断熱とした。なお、外壁にはヒバ材を用いているが、その4割は改修により撤去した議場の天井材等を再利用している。

3) 設備計画

空調設備や照明器具に高効率型の機器を採用するとともに、BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）による県庁舎全体での空調設備機器等の運転状況の管理を可能にするなど省エネルギー化を図っている。

また、地熱を活用した通路の融雪設備や正面玄関の段差を解消するためのエレベーターの設置などユニバーサルデザイン化を図っている。

3. 施工にあたっての工夫等

一部機関の周辺の民間ビル等への仮移転や、庁舎内の移転を行うことなどにより南棟及び東棟の5階以上を空室にした上で工事に着手した。

庁舎を使用しながらの工事であり騒音や振動による執務等への影響の抑制、また、各部局の移転や動線と工程の調整等、庁舎管理担当課も交えた定例会議等において、綿密な調整を図った。



改修後の県庁舎

4. おわりに

県庁舎を使用しながら、国や都道府県の庁舎では初の減築を伴う全面的な改修工事にも関わらず、予定工期内に事故なく完了できたとともに、栄誉ある全建賞を受賞したことは、設計・監理者、施工者等の綿密な打合せや創意工夫、そして来庁者の方々や職員等の理解と協力の賜物である。

賛助会員（株）奥村組